

隠れ糖尿病に要注意

経口糖負荷試験で検査を



横田一樹医師

け、15年の世界ランキ

糖尿病が全世界で10秒に1人の命を奪って、第9位います。2006年にの約720万人にも上は国連で「糖尿病の全」というデータがあり世界的脅威を認知する

「基本的には糖尿病は、初期の段階では全く症状がありません。高血糖がしばらく持続して初めてのことです。その後、多尿、多飲、口は爆発的に増え続け、体重減少といった典型的な症状が出てきます。世界の成人のうち11人に1人が糖尿病だと推定されています。残念ながら、日本でも糖尿病患者は増え続

逃されている可能性があるという衝撃的な報告もあります。自分は大丈夫だと思っ

初期の症状がない段階で、この「隠れ糖尿病」を発見するには経口糖負荷試験(OGTT)が必要不可欠です。検査自体は非常に簡単で、75gのブドウ糖が入ったジュースを飲み、30分ごとに採血するだけです。30分ごとの血糖値とインスリン値(血糖を下げるホル

モン)を測定することです。すでに糖尿病かどうかはもちろん、今後糖尿病になりやすいかどうかまで判断することができます。

糖尿病の病態解明は世界規模でどんどん進んでおり、ここ数年の糖尿病治療薬の開発に目覚ましいものがあります。早期に発見し、適切な治療を続けていれば、脳卒中や心筋梗塞、失明、人工透析、足壊疽といった怖い合併症の多くを防ぐことができます。ぜひOGTTで適切な糖尿病の診断を受けましょう。

(明石市医師会 横田一樹医師) 糖尿病内科